



『浜玉中三訓』 時間 掃除 あいさつ 《時を守り 場を清め 礼をつくす》
 『学校教育目標』 『持続可能な社会の創り手となる生徒の育成』
 《めざす生徒像》 豊かな心で、未来を切り拓く生徒

◆ 学力向上研究会を開催しました ◆

先日（5月15日）、唐津市教育委員会主催の学力向上研究会が本校で開催されました。唐津市内各小中学校の学力向上推進リーダーの先生約60名が、本校研究主任である平方章弘先生の理科の授業を参観しました。その後、大妻女子大学の樺山敏郎教授から、参観授業を基に講演いただきました。

ご存じのように、本校は、昨年度から唐津市教育委員会指定の学力向上の研究をしています。樺山教授には、6月11日（日）の「唐津市教育の日」においても、各授業を参観いただき直接ご指導いただく予定です。



なお、今回の授業や研究会の様子は、「チャンネルからつ（12Ch）」において今週の土日にも放映されます。放送枠は、5月20日（土）21日（日）の「①19:30 ②22:30 ③深夜0:30 ④5:30 ⑤7:30 ⑥12:30」となっています。

◆ 学力向上の取組について ◆

本校では、全学年の全教科において単元の学習目標シート「ラーニングマウンテン」を取り入れ、単元の学習で身に付ける力を可視化しています。

担当教員と生徒が単元目標を共有し、お互いが学習内容や進度（ステップ）を確認しながら授業を進める取組を行っています。

右図は、社会科（歴史）の単元「第6章 現在に続く日本と世界」のラーニングマウンテンです。「山の土台」に、これまでの既習事項を記載し、「登山道」に、STEP①～STEP③と授業進度を示しています。そして、「山頂」には、その単元を通して身に付く内容を「分かること・できること」「考えること・表すこと」「工夫して学ぼうとすること」と分けて明示しています。



本校では、昨年度から単元テストを導入し、より一層の指導と評価の一体化を進めています。単元を学習した仕上げとして単元テストを行うことで、生徒は身に付いた知識事項を確認、担当教員は指導と評価の一体化の資料としています。なお、学期末の評価・評定にあたっては、単元テストだけではなく、ワークシートやレポート、行動観察等の様々な評価資料を総括しています。

■先日、某所にある予約困難なお店に行く機会があった ■聞くと、有名人が多数お忍びで来られているとか ■漁港から10分ほど船に揺られて岬の先端へ ■着いたところは、私が教員に成りたての頃、家庭訪問でお邪魔したお家！ ■当時は、険しい山道を数十分歩いて訪問した ■のどかでほっとするよい思い出 ■（イタル）